

●手賀沼水面鳥類センサス結果

調査日:2016年6月15日、7月14日、8月17日(9:00~12:00)

科名	和名	6月	7月	8月
カモ	コブハクチョウ	23	32	20
	カルガモ	20	31	37
カイツブリ	カイツブリ	15	30	17
	カンムリカイツブリ	2	0	0
ウ	カワウ	71	107	94
サギ	ヨシゴイ	1	0	0
	ゴイサギ	1	1	0
	アマサギ	0	0	3
	アオサギ	15	9	8
	ダイサギ	0	0	3
	チュウサギ	0	0	2
	コサギ	0	3	11
	クイナ	オオバン	7	6
シギ	イソシギ	0	0	2
タカ	トビ	1	2	1
カワセミ	カワセミ	10	7	2
カラス	ハシボソガラス	0	0	3
ツバメ	ツバメ	8	3	2
家禽	アヒル	2	2	0
合計*	18種	176	233	214

*不明種、家禽や外来種を除く



カイツブリ(7月)



オオバン(7月)



コブハクチョウ(8月)



コサギ(8月)

鳥の博物館オリジナルハンドタオルができました!
手賀沼で見られる水鳥の実物大の足跡がプリントされたハンドタオルです。スポーツや行楽にもオススメです。



**2階ミュージアム
ショップで販売中!**
600円(税込)

大きさ:約34cm×約32cm



カルガモ(6月)



カワウ(6月)

利用案内

- 開館時間 午前9時30分~午後4時30分
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、館内整理日、設備工事期間(11/7~1/31)、年末年始(12/29~1/4)

	区分	個人	団体
入館料 (当日有効)	一般	300円	240円
	高校生・大学生	200円	160円
3館共通入館料 (1か月有効)*	一般	600円	
	高校生・大学生	400円	

・入館料免除の方①70歳以上の方 ②障害者手帳をお持ちの方(付き添い1名含む)

・中学生以下の方は入館無料

*白樺文学館、杉村楚人冠記念館との共通券

●お問い合わせ:我孫子市鳥の博物館

〒270-1145 千葉県我孫子市高野山 234-3

☎:04-7185-2212 FAX:04-7185-0639

ホームページ: <http://www.city.abiko.chiba.jp/bird-mus/index.html>

交通案内

JR 我孫子駅南口バス停より市役所経由

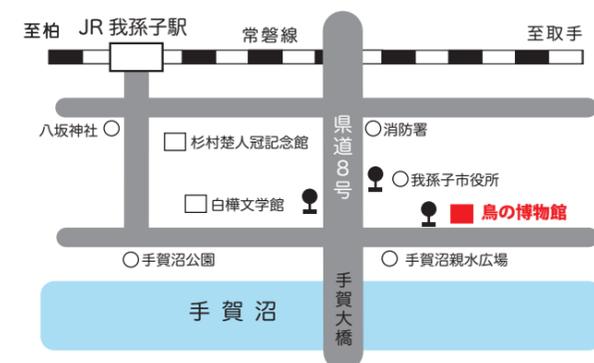
バスで「市役所」下車、徒歩5分

*毎週土日祝日は博物館行きのバスが運行していません

我孫子駅南口バス停より、天王台行きバスで「鳥の博物館」下車

天王台駅南口バス停より、我孫子駅行きバスで「鳥の博物館」下車

自動車利用の方は地図をご覧ください(駐車場無料/大型バス駐車可)



あびこ鳥だより

ABIKO BIRD MUSEUM LETTER Vol.44

Autumn
2016
【秋号】



【特集】

フクロウを描いてみよう ~展示づくりのヒント~

【最新情報】

ジャパンバードフェスティバル2016が開催されます

鳥の博物館 一時休館のお知らせ

表紙の鳥 トビ

フクロウを描いてみよう ～展示づくりのヒント～

昨年、鳥の博物館では我孫子市内で繁殖したフクロウの巣箱の観察記録をまとめた企画展「フクロウさんちの子育て日記」を開催しました。子育てがテーマということで、計画段階から親子で楽しめる企画展にしたいと考えていました。そのために子どもたちがフクロウに対してどんなイメージを持っているのかを事前に調べてみることにしました。今回の特集では子どもたちの描いたフクロウがくれた展示づくりのヒントについてお話しします。

子どもたちのイメージから展示を考える

企画展がスタートする数ヶ月前、市内の幼稚園に協力していただき、園児36人に図鑑や絵本を見ないで自由にフクロウを描いてもらいました。子どもたちの絵をよく見てみると、いくつかの共通点があることが分かりました。まず、ほとんどの絵が木にとまっている姿だったことです。子どもたちにとってフクロウは、やはり森林の鳥のイメージが強いようでした。

また、羽色はカラフルなものは少なく、灰色または茶色のフクロウがほとんどでした。夜を連想させる月や黒い空を描いた絵もあり、夜行性で森林や農耕地では目立たない羽色であると、子どもたちも知っていることが伺えました。描かれたフクロウの羽の特徴でおもしろかったのは、7割近くの絵に耳のように見える羽(羽角)があったことです。このことからフクロウの種類については、曖昧に捉えていることが分かりました。そこで企画展では種の違いが分かるように、日本に生息するフクロウ科の鳥を並べて配置することにしました(下写真左)。



企画展示室の様子

触れるあしの標本

子どもたちが描くフクロウには実物のフクロウと大きく異なる点がありました。それはあし指の羽毛で、8割以上の絵で描かれていませんでした。フクロウは木にとまっていると、あし指が羽毛に隠れて見えないためか印象にあまりない部分のようです。企画展ではフクロウのあしの特徴が分かるように触れる標本を設置しました(上写真右)。他にも触れる羽毛標本やヒナの重さ体験などのハンズオン(触れる展示)をはじめ、鳴き声や映像など五感を使う展示づくりには、子どもたちが描いてくれたフクロウのイメージがとても役立ちました。

今回は描いてくれた絵を展示できませんでしたが、機会があれば子どもたちの絵を皆さんに見ていただく場を作りたいと思っています。

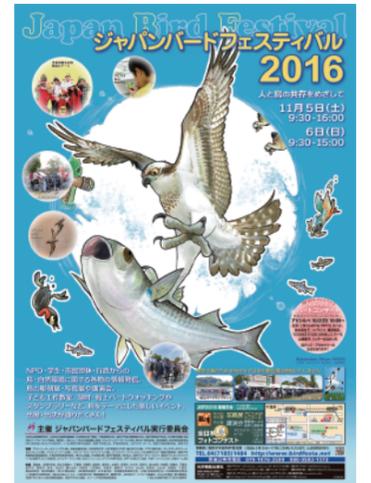
ご協力いただいた湖北白ばら幼稚園の皆さん、ありがとうございました。

ジャパンバードフェスティバル2016が開催されます

ジャパンバードフェスティバル(Japan Bird Festival/略称:JBF)は、我孫子市手賀沼周辺で行われる、鳥をテーマにしたイベントです。行政・NPO・学生・市民による鳥と自然環境に関する研究・活動の発表、鳥の彫刻・絵画・写真展や工作教室、船上バードウォッチングやスタンプラリーなどが催されます。

鳥の博物館でも様々な催しを企画しています。(公財)山階鳥類研究所との共催の鳥学講座では、絶滅危惧種コアジサシの保護活動を進めるリトルターン・プロジェクトの代表である北村亘さんを講師に招き、活動の今をお話いただきます。JBF期間中、博物館は入館無料です。館内では工作やクイズなどをお楽しみいただけます。皆さん、ぜひご来館ください。

開催期間：11月5日(土) 9:30～16:00 11月6日(日) 9:30～15:00



鳥の博物館のイベント

日時	イベント	場所	定員(先着)
11月5日(土)	10:00～11:00	コウノトリの帽子をつくろう	鳥の博物館 30名
	13:00～14:00	てがたん in JBF	鳥の博物館 15名
	13:30～15:30	鳥博クイズ	鳥の博物館 150名
	13:30～15:00	鳥学講座「コアジサシ保全活動の現場から」 講師：北村亘さん(東京都市大学講師)	アビスタ(我孫子市生涯学習センター) 120名
11月6日(日)	10:00～11:00	コウノトリの帽子をつくろう	鳥の博物館 30名
	10:30～11:30	ゲストトーク「はばたけ!しんはま!!行徳野鳥観察舎と保護区のお仕事」 ゲスト：野長瀬雅樹さん(NPO法人行徳野鳥観察舎友の会)	鳥の博物館 70名
	13:00～14:00	てがたん in JBF	鳥の博物館 15名
	13:30～15:30	鳥博クイズ	鳥の博物館 150名

鳥の博物館 一時休館のお知らせ

鳥の博物館は開館25年を経過し、様々な設備の更新が必要な時期となってきました。このたび、空調設備更新工事のため、平成28年11月7日から平成29年1月31日までの予定で休館します。自然観察会「てがたん」は休館期間中も毎月第2土曜日の午前10時から実施します。



休館期間中も自然観察会「てがたん」は通常通り実施します

イベント情報

●講演・座談会

○鳥学講座

日時：11月5日(土) 13:30～15:00 (13:00開場)
場所：アビスタ(我孫子市生涯学習センター)
定員：先着120名(参加無料)
テーマ：「コアジサシの保全活動の現場から」
講師：北村亘さん(NPO法人リトルターン・プロジェクト代表)

○テーマトーク

時間：13:30～14:00
10月8日(土)「明治期の標本が語るもの～絶滅鳥カウライナインコ～」
*11月から1月までテーマトークはありません
場所：博物館多目的ホール 定員：先着50人(参加無料)
講師：小林さやかさん(山階鳥類研究所自然誌研究室専門員)

●自然観察会

○てがたん～自然観察会～

時間：10:00～12:00(雨天中止)
定員：なし
集合場所：博物館入口(予約不要)
10月8日(土)「秋の生き物たち」
11月12日(土)「カモいろいろ」
12月10日(土)「葉っぱの形で木の名前がわかるかな?」

*自然観察会は高校生以上の方は保険料100円がかかります
*館内で行うイベントは参加無料でも入館料が必要です

2016年10月～12月